

アンテナバラン 組立部品セット KIT-DB-300H-V3

50Ω 不平衡 : 300Ω 平衡 1.5MHz~60MHz

許容入力電力 : 連続 100W (CW 200W, SSB 300W)

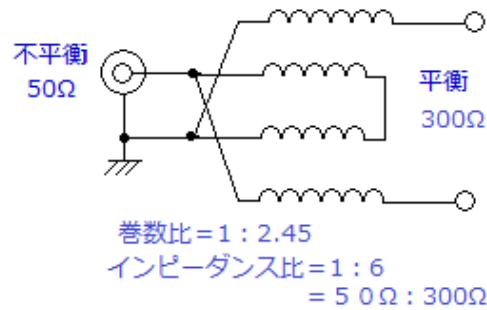
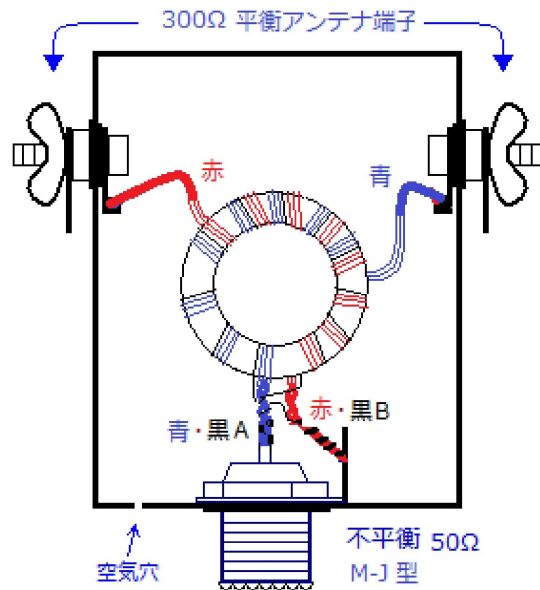
サイズ50W×75H×30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

||||| 50Ω : 300Ω バランの作り方 |||||

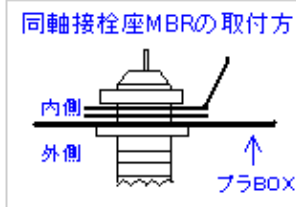
- ①コアの巻き方の通り、0.51mmETFE電線40cm を、コアに11回巻きます
- ②さらに赤色線、青色線をコアの巻き方の通り巻線し末端配線の通り結線配線します
- ③プラボックスにボルトナット、M-BR (M型座) を取り付けます
- ④巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

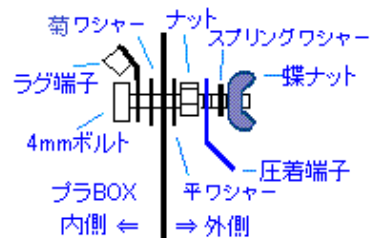
回路図



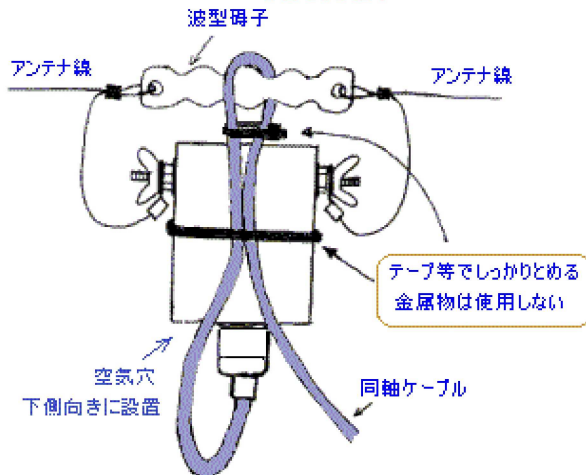
部品表	
フェライトコアE04RA310190100-1	1
0.51mmETFE電線40cm-1 黒	1
0.51mmETFE電線35cm-赤3、青3	3
M型接栓座 M-BR	1
ステンボルトナットワッシャー 蝶ナット、ラグ端子	2組
プラボックス	1
波型碍子	1
結束バンド	2



アンテナ端子取付方法



バラン取付方法



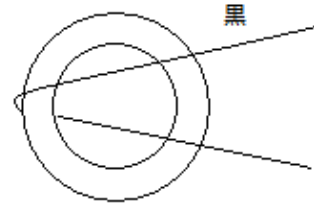
コアの巻き方

0.51mmETFE電線40cm-1 黒
0.51mmETFE電線35cm- 赤3、青3

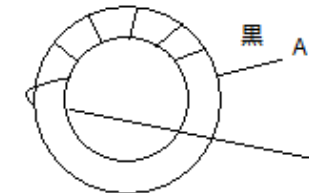
1、黒色線を 半分ほどで折り返します



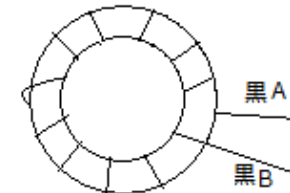
2、40cm黒色 ETFE電線を コアに 約半分の長さで通します



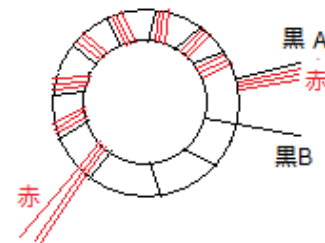
3、半分の黒色 ETFE電線を6回巻きます (コア内通過数)



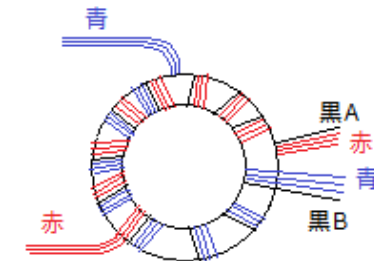
4、もう片側半分の黒色 ETFE電線を図のように 同様に5回巻きます (コア内通過数) 合計11回巻きます



5、黒色線の黒Aから赤色線を3本並べて8回横に巻きます (コア内通過数)

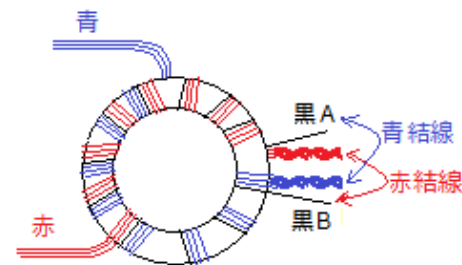


6、黒色線の黒Bから青色線を3本並べて8回横に巻きます (コア内通過数)

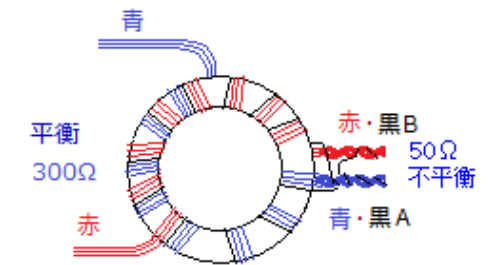


7、端末配線

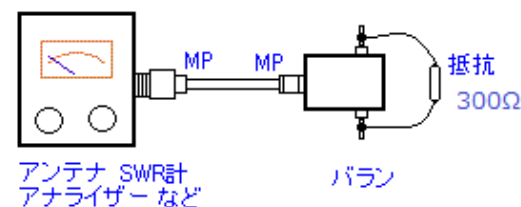
色別毎に束ねた端末線は、下図のように赤色線と黒Bを、また、青色線と黒Bを 結線配線 接続します



8、コアの完成



SWR測定方法



抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例

